

## 題材の目標

- (1) よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解し、形や色彩などが感情にもたらす効果を基に、材料や用具の生かし方を身に付け、順序などを考えながら見通しをもって制作をすることができる。
- (2) 自然物などの特徴やイメージを用いる場面から主題を生み出し、形や色彩の構成を工夫して調和のとれた美しさを考えた構想を練ることができる。装飾の仕方や使いやすさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、自然物の特徴などを生かした模様をデザインすることに関心をもち、意欲的に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

【準備等】画用紙、トレーシングペーパー、布、タブレット端末、ワークシート、筆記用具、絵の具など

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 参考作品を鑑賞する。</p> <p>★模様にある植物の形や色彩はどんな変化をしたのだろう。</p> <p>○教科書の作品を鑑賞し、それぞれの作品が何をどのように変化させたものなのかを考える。</p> <p>2 主題を決め、スケッチを行う。</p> <p>★身近な自然物などから、形や色彩の構成の工夫を考え、構想を練ろう。</p> <p>○教科書の「つなげ方を試してみよう」を利用して模様のつなげ方を学ぶ。</p> <p>○模様を使用する場面や制作する素材を決め、自然物などから模様にするモチーフを決定し、スケッチする。</p> <p>○スケッチしたものを形の特徴を生かしながら単純化し模様の基本形を画用紙につくる。</p> <p>3～4 スケッチを基に連続する模様を決め、制作する。</p> <p>★自然物などの形や色彩の美しさなどをとらえ連続模様を表現しよう。</p> <p>○連続する模様に使われる技法について説明を受ける。</p> <p>○模様の基本形を並べて連続性を確認し、配置や色彩について考えをまとめる。</p> <p>○作品を使用する場面に合わせて、材料を選び、本制作を進める。</p> <p>5 鑑賞会を行う。</p> <p>★主題を表現した工夫を発見し、互いのよさを伝え合おう。</p> <p>○お互いの作品を鑑賞し、作品を使う場面を基に単純化したものや、連続模様をつくるために工夫したことについて話し合い、見方を広げる。</p>	<p>・2次元コードを読み取り、本題材の目標を確認させる。</p> <p>・伝統模様の単純化と構成の工夫に気付かせる。</p> <p>【評】自然物などの特徴やイメージと使う場面を基に、作者の制作意図を考えながら鑑賞する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・連続模様のつくり方を説明し、実際に簡単な連続模様をつくらせて、仕組みを捉えさせる。</p> <p>【評】模様をデザインすることに関心をもち、意欲的に取り組む活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教科書p 70～72を参考に、主題を生かす形、色彩、構成を考えながら制作を進めさせる。</p> <p>【評】自然物などの特徴やイメージ、使う場面などをもとに、形や色彩、構成を考える活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・連続する模様のつくり方を振り返り、生徒が技法を選択できるようにする。</p> <p>・基本形を並べることで分かるよさや問題点に気付かせ、問題があれば基本形を見直しさせる。</p> <p>・版や型紙、トレーシングペーパーなどを制作工程に合わせて活用させる。</p> <p>【評】形や色彩の特徴に着目し、材料や用具の扱い方を工夫して見通しをもって表す活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・モチーフの単純化や主題を表現する工夫を考えさせて鑑賞させる。</p> <p>【評】制作した素材と場面を基に、自然物などの特徴やイメージ、形や色彩、構成の意図や工夫を考えながら鑑賞する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p>

### 【 備 考 】

本題材では写実的な表現のみを追究させ、苦手意識をつくらないようにしたい。図式的な表現様式を用いて使用する対象をよく観察し、よさや美しさを感じ取り対象物に愛着がもてるような指導を行いたい。同時に自分なりの表し方を工夫することで表現の多様さや豊かさに触れさせ、表現することを愛好していけるように指導したい。また、さまざまな描画材を体験することで基礎的な技能を身に付けさせたい。